

家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン 等の利用に関する調査結果報告書（概要版）

令和元年5月

東京都都民安全推進本部

目 次

1	調査の概要	1
	■ 調査の目的	
	■ 調査対象者	
	■ 調査方法	
2	携帯電話・スマートフォンの利用状況について	2
	■ 機器の利用について	
	■ スマートフォンを持たせた時期	3
	■ スマートフォンを持たせた理由	4
	■ 1日の利用時間	5
	■ 使用目的	6
	■ SNSやインターネットでやり取りしている相手の把握状況	7
3	悪影響・トラブルの有無について	8
	■ 睡眠不足等、影響の有無・内容	
	■ トラブルの有無・内容	10
4	家庭におけるルール作りについて	12
	■ 家庭内でのルールの有無・内容	
	■ 家庭内でのルールの作り方	14
	■ ルールは守られているか	
5	フィルタリングサービスについて	15
	■ フィルタリングサービスの加入・設定状況	
6	保護者の意識について	17
	■ スマートフォンを持たせるにあたり不安なこと	
	■ 適切な監督	18

1 調査の概要

《調査の目的》

東京都内の小・中学生及び高校生の携帯電話等（スマートフォンを含めた携帯電話・PHSをいう）の所有率を調査するとともに、小・中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者に対して、子供が利用する携帯電話等のフィルタリングへの加入状況や意識を調査し、フィルタリングの重要性と必要性の啓発及び青少年健全育成条例における保護者の責務の更なる周知・徹底を図るとともに、今後の施策の参考とする。

《調査対象者》

都内在住で、小学生、中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者2,000名（うち小学生低学年1年生から3年生500名は今回から実施）

	東京都内 (23区)	東京都内 (23区外)	合計
小学生低学年(1～3年生)の保護者	350	150	500
小学生高学年(4～6年生)の保護者	350	150	500
中学生の保護者	350	150	500
高校生の保護者	350	150	500
総計	1,400	600	2,000

《調査方法》

- 1 調査期間：平成31年3月1日（金）から同年3月4日（月）まで
- 2 調査方法：インターネットパネル※を使用してのアンケート調査

※ 調査会社提携先の登録会員に対して、Web画面上のアンケートなどのリサーチを実施する手法

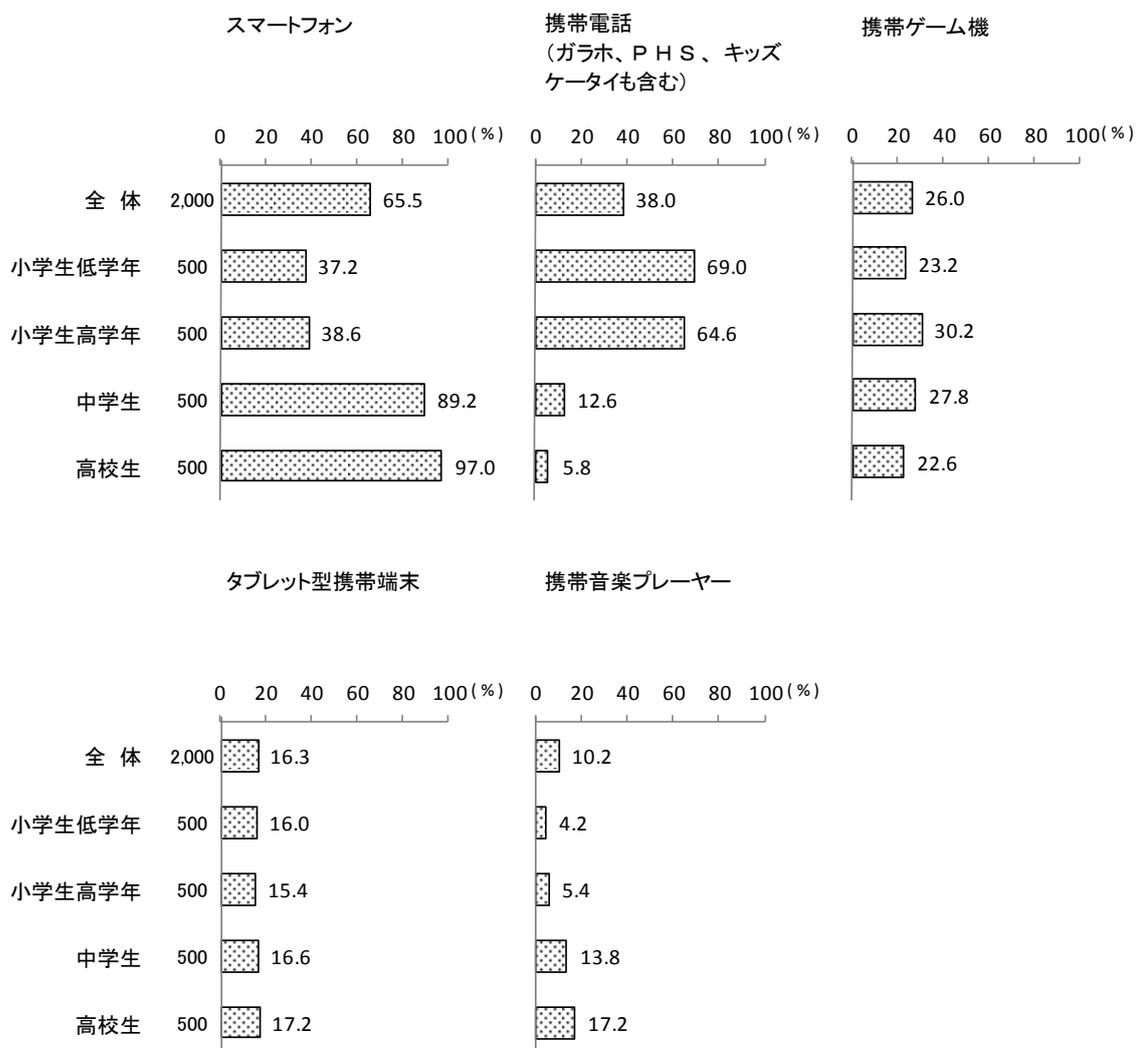
2 携帯電話・スマートフォンの利用状況について

《機器の利用について》

あなたのお子さんは、下記の機器を利用していますか。(いくつでも)

子供が利用している機器は、「スマートフォン」が65.5%と最も高く、次いで「携帯電話(ガラホ、PHS、キッズケータイも含む)」が38.0%、「携帯ゲーム機」が26.0%となっている。

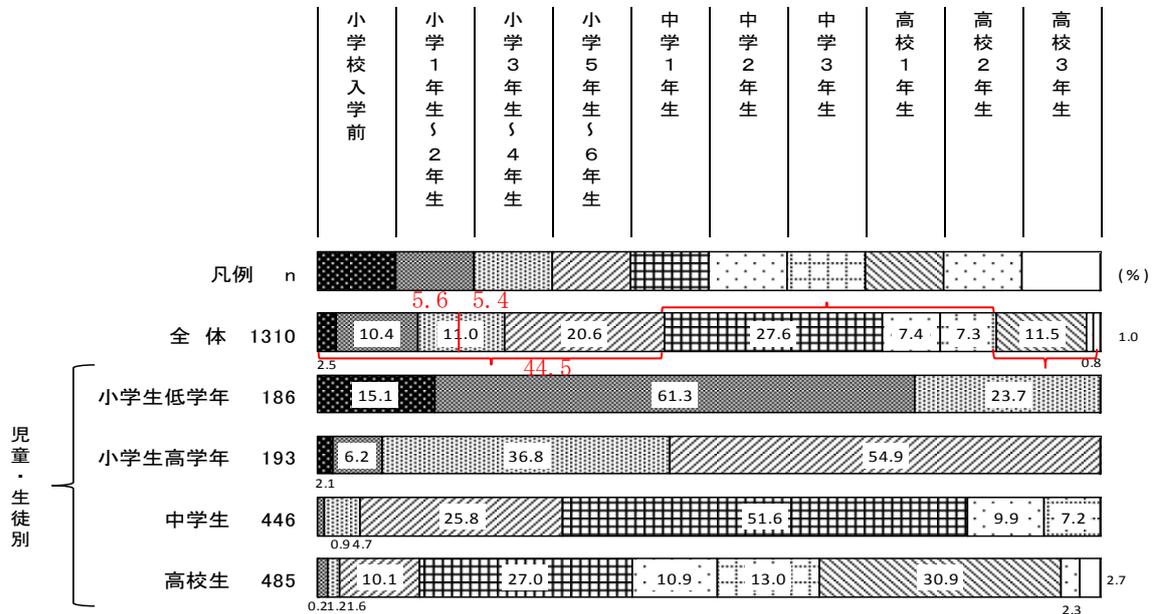
児童・生徒別では、「スマートフォン」は、小学生低学年が37.2%、小学生高学年が38.6%、中学生が89.2%、高校生が97.0%と年齢が上がるにしたがって高くなっている。「携帯電話(ガラホ、PHS、キッズケータイも含む)」は、小学生低学年が69.0%、小学生高学年が64.6%、中学生が12.6%、高校生が5.8%と年齢が上がるにしたがって割合が低くなっている。



《スマートフォンを持たせた時期》

お子さんにスマートフォンを持たせた時期はいつですか。(1つに回答)

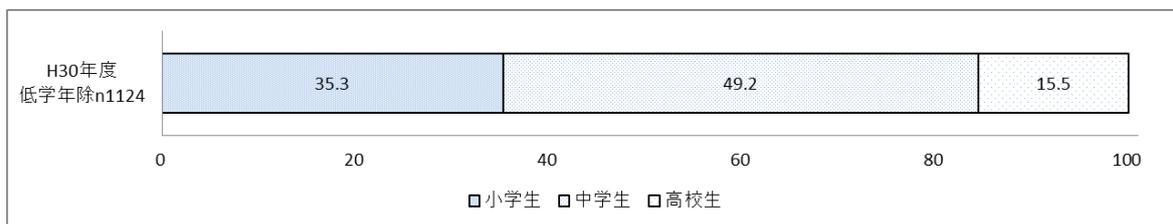
子供にスマートフォンを持たせた時期は、「中学1年生」が27.6%と最も高く、次いで「小学5年生～6年生」が20.6%となっている。《小学校入学前、小学生》で持たせ始めている割合は44.5%、《中学生》が42.3%、《高校生》が13.3%となっている。



集計表 (H30年度 家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用に関する調査報告書から抜粋)

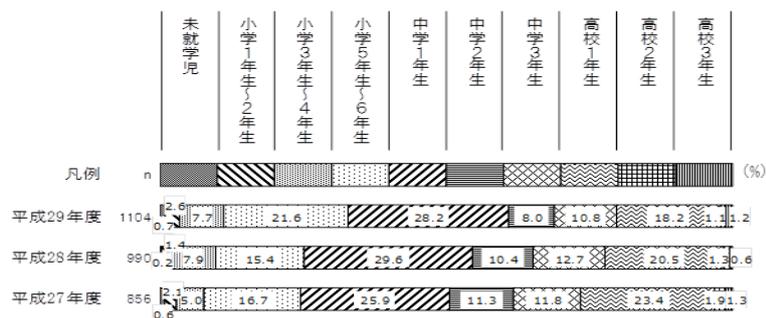
	該当数	小学校入学前	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
全体	1310	33	86	50	73	71	105	165	361	97	95	150	11	13
児童・生徒別	100.0	2.5	6.6	3.8	5.6	5.4	8	12.6	27.6	7.4	7.3	11.5	0.8	1
小学生低学年	186	28	76	38	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生高学年	193	4	4	8	21	50	48	58	0	0	0	0	0	0
中学生	446	0	1	3	7	14	37	78	230	44	32	0	0	0
高校生	485	0	0.2	0.7	1.6	3.1	8.3	17.5	51.6	9.9	7.2	0	0	0
高校生	485	1	5	1	7	20	29	131	53	63	150	11	13	
高校生	100.0	0.2	1	0.2	0.2	1.4	4.1	6	27	10.9	13	30.9	2.3	2.7

小学生低学年を除いた割合



H29年度調査結果

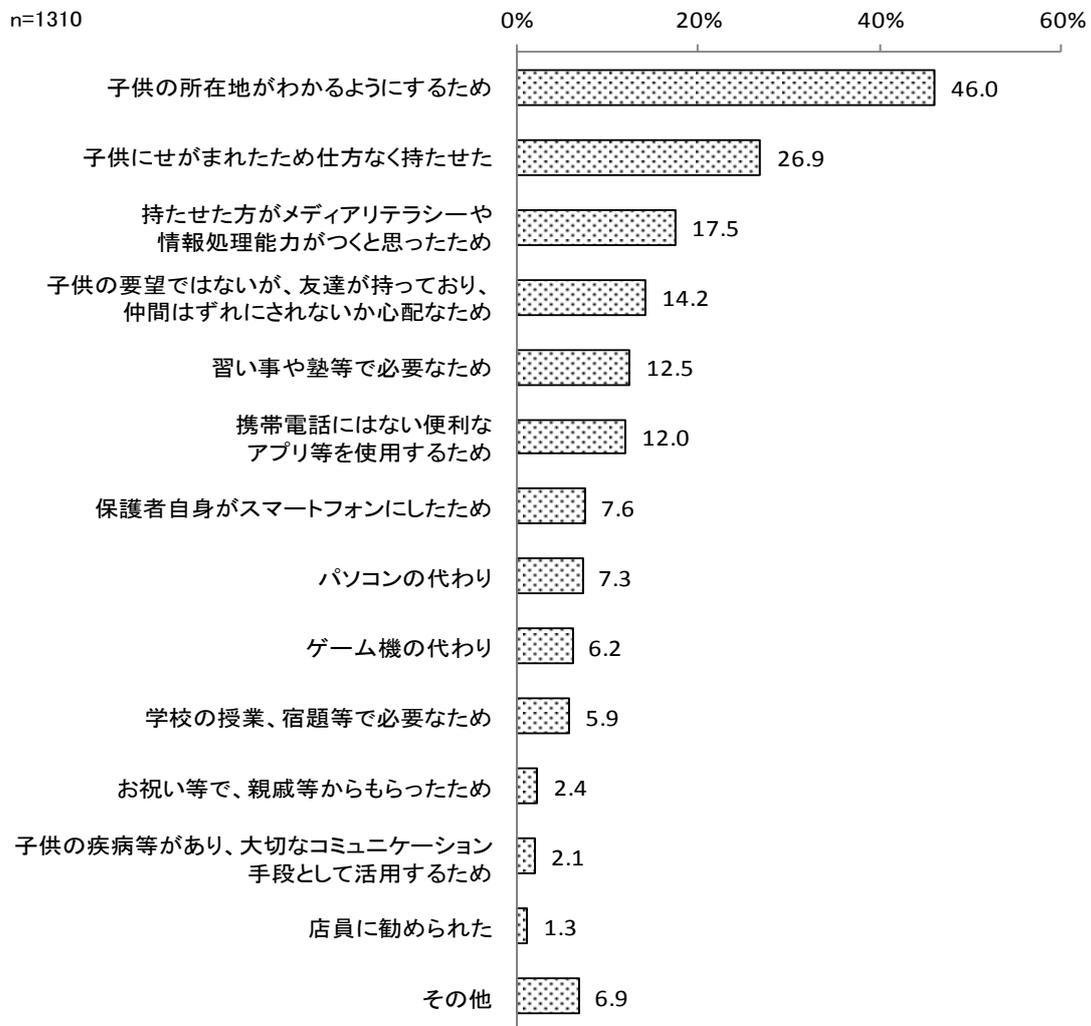
(平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用に関する調査報告書から抜粋)



《スマートフォンを持たせた理由》

お子さんにスマートフォンを持たせた理由（きっかけ）は何ですか。（いくつでも）

子供にスマートフォンを持たせた理由（きっかけ）は、「子供の所在地がわかるようになるため」が46.0%と最も高く、次いで「子供にせがまれたため仕方なく持たせた」が26.9%、「持たせた方がメディアリテラシーや情報処理能力がつくと思ったため」が17.5%となっている。



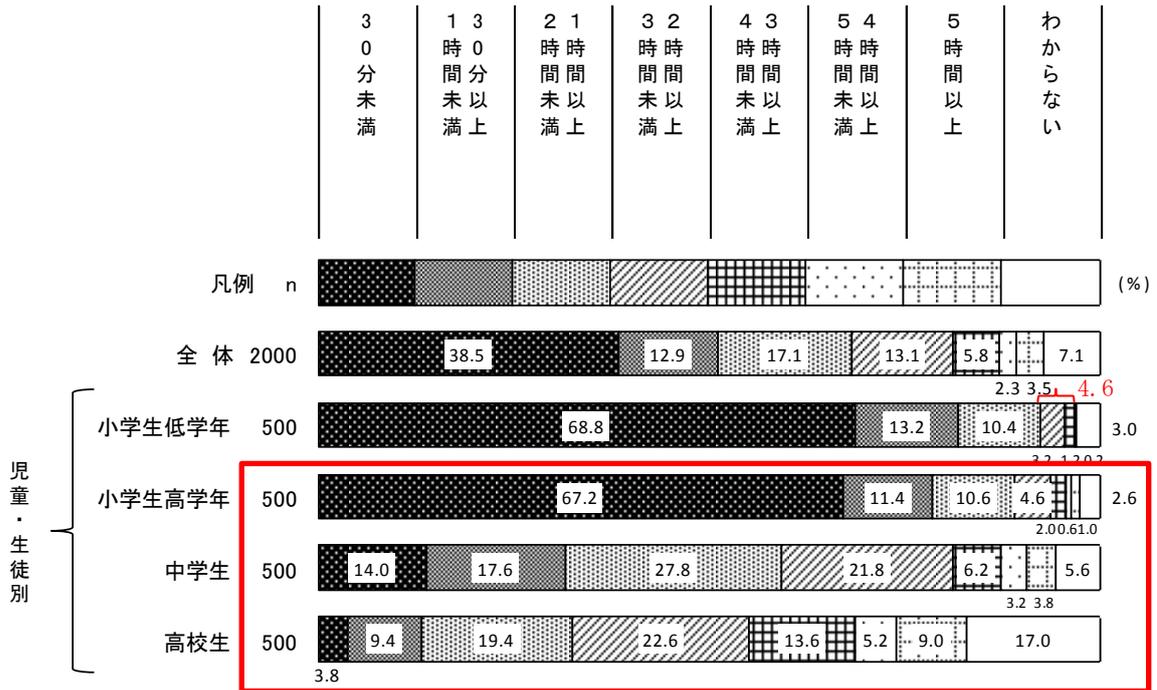
《1日の利用時間》

お子さんは、携帯電話・スマートフォンを1日にどのくらい使用していますか。

※ 両方お持ちの方は、スマートフォンの使用について回答してください。(1つに回答)

子供が携帯電話・スマートフォンを1日に使用している時間は、「30分未満」が38.5%と最も高く、次いで「1時間以上2時間未満」が17.1%、「2時間以上3時間未満」が13.1%となっている。

児童・生徒別では、使用時間が《1時間未満》は、小学生低学年が82.0%、小学生高学年が78.6%、中学生が31.6%、高校生が13.2%と年齢が上がるにしたがって使用時間が増える傾向がみられる。

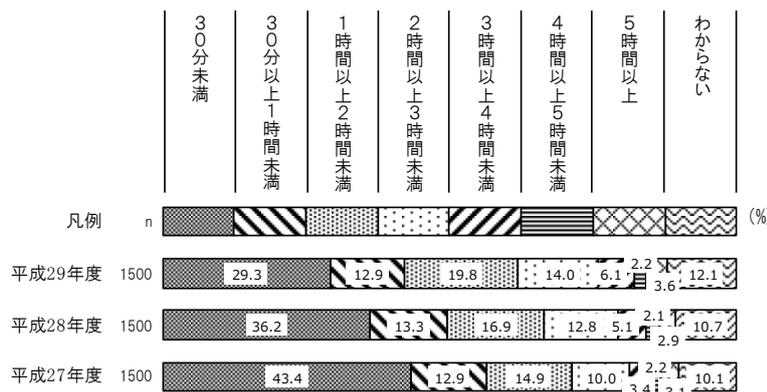


小学生低学年を除いた割合



H29年度調査結果

(平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書から抜粋)



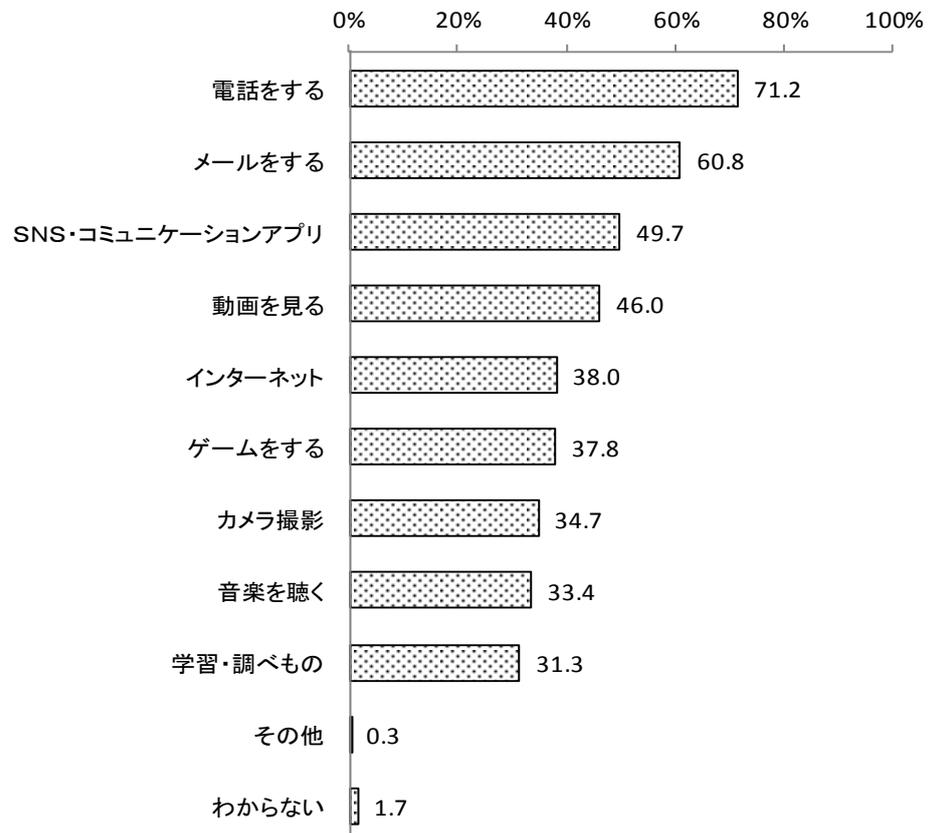
《使用目的》

お子さんは、携帯電話・スマートフォンで主に何をしていますか。

※ 両方お持ちの方は、スマートフォンの使用について回答してください。(いくつでも)

子供が携帯電話・スマートフォンを使用している目的は、「電話をする」が71.2%と最も高く、次いで「メールをする」が60.8%、「SNS・コミュニケーションアプリ」が49.7%となっている。

n=2000

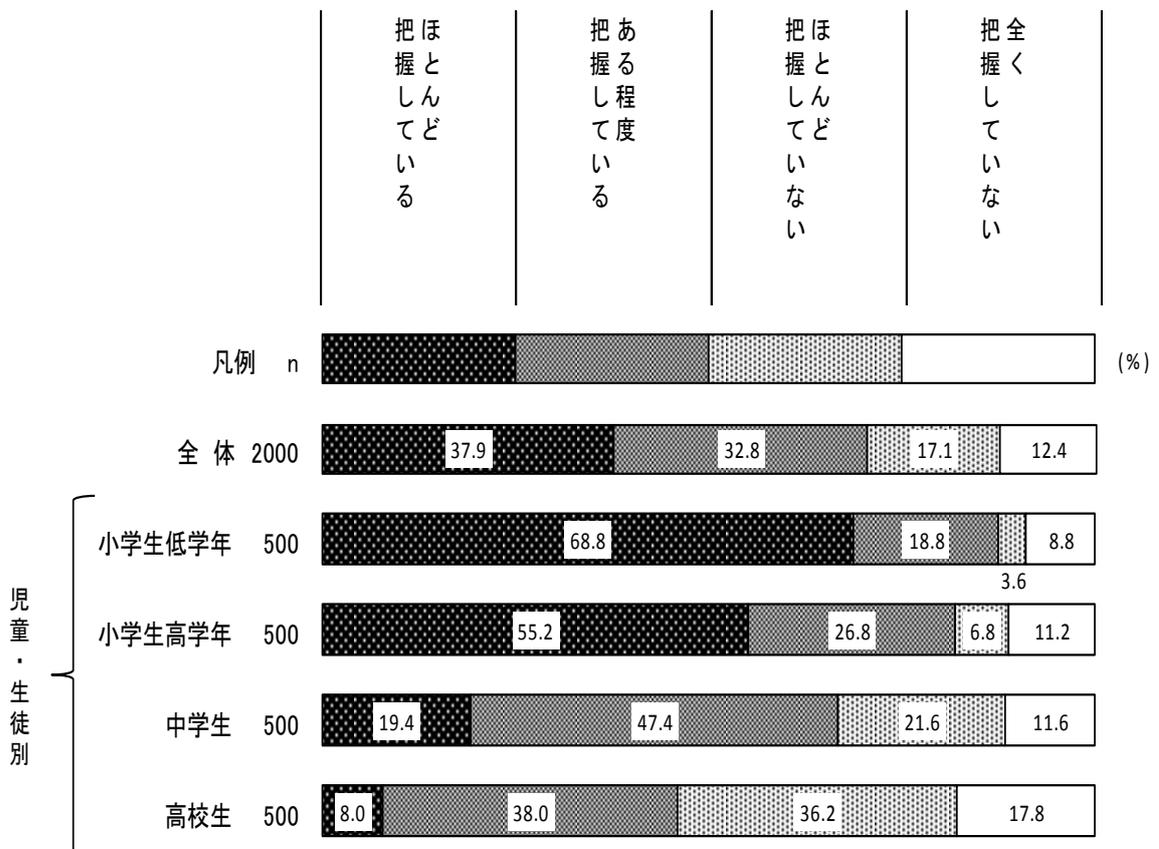


《SNS やインターネットでやり取りしている相手の把握状況》

お子さんがSNSやインターネットを通じてやり取りしている相手を、どの程度把握していますか。(1つだけ)

子供のSNSやインターネットでやり取りしている相手の把握状況は「ほとんど把握している」が37.9%、「ある程度把握している」が32.8%で、両者を合わせた《把握している》の割合は70.7%であった。

児童・生徒別では、小学生低学年では《把握している》が87.6%、小学生高学年では82.0%、中学生では66.8%、高校生では46.0%と年齢が上がるにしたがって保護者が子供の相手を把握している割合が低くなっている。



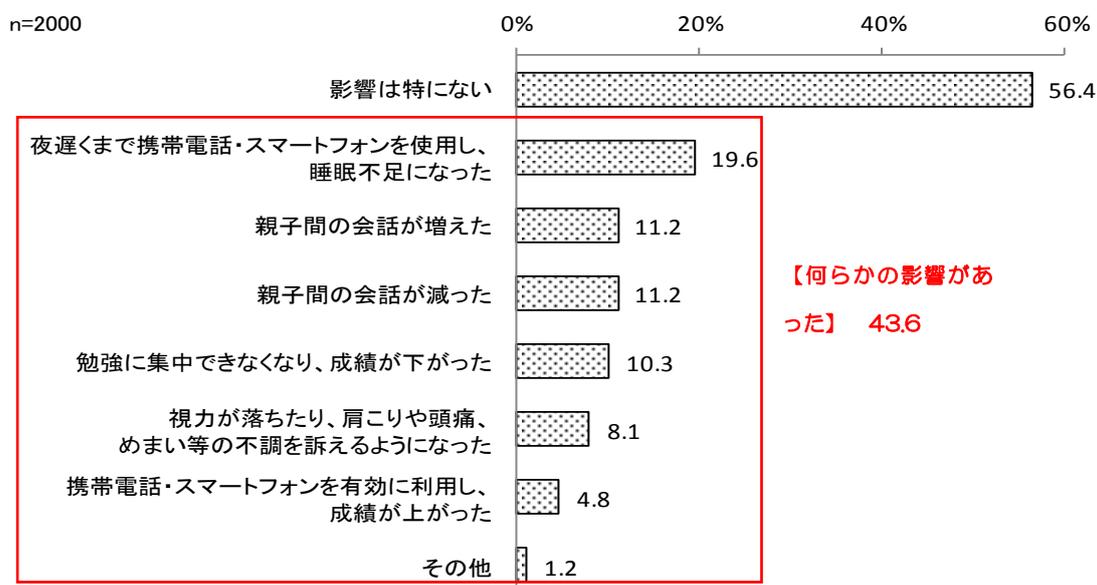
3 悪影響・トラブルの有無について

《睡眠不足等、影響の有無・内容》

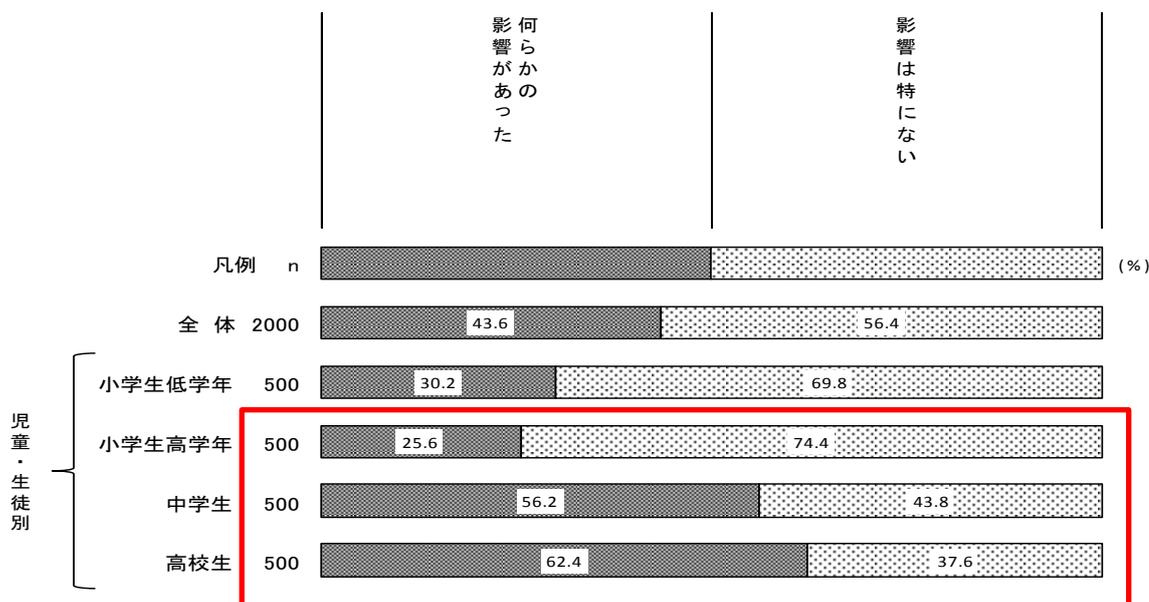
お子さんに携帯電話・スマートフォンを持たせたことにより、どのような影響がありましたか。
(いくつでも)

何らかの影響の有無についてみると、「何らかの影響があった」が43.6%、「影響は特にな
い」は56.4%となっている。

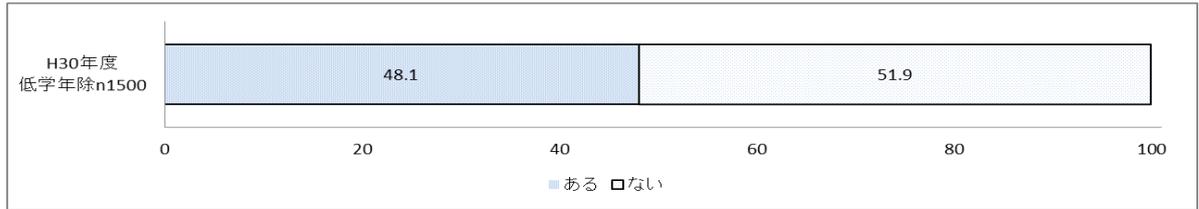
子供が携帯電話・スマートフォンを持って、どのような影響があったかは、「夜遅くまで携
帯電話・スマートフォンを使用し、睡眠不足になった」が19.6%、「親子間の会話が増えた」、
「親子間の会話が減った」がそれぞれ11.2%となっている。



児童・生徒別では、「何らかの影響があった」は、小学生高学年が25.6%であるが、中学生
は56.2%、高校生が62.4%と小学生高学年の倍近い割合となっている。

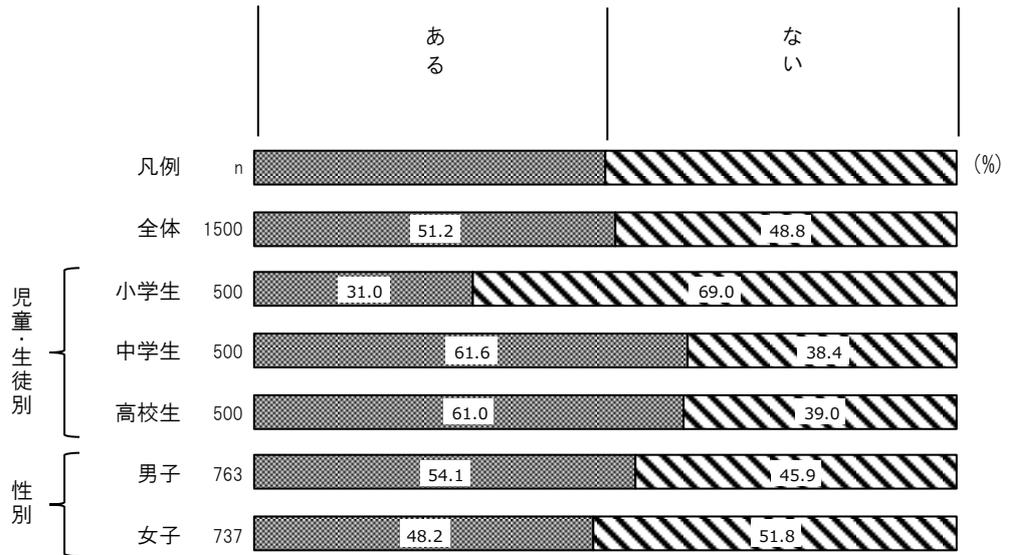


小学生低学年を除いた割合



H29 年度調査結果

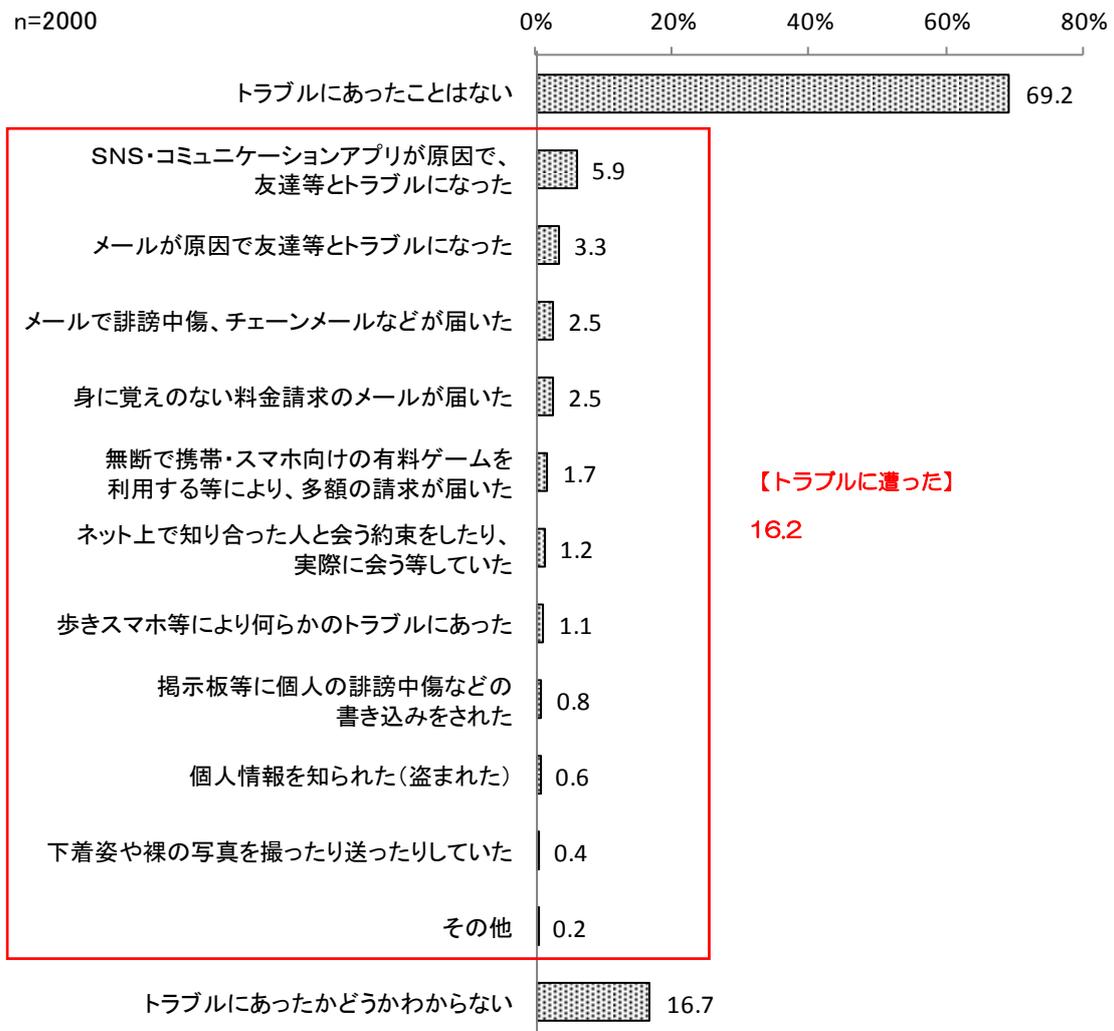
(平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書から抜粋)



《トラブルの有無・内容》

お子さんが携帯電話・スマートフォンを利用する中で、どのようなトラブルにあったことがありますか。(いくつでも)

子供が携帯電話・スマートフォンを利用する中であったトラブルについては、「トラブルにあったことはない」が69.2%で最も高く、次いで「トラブルにあったかどうかわからない」が16.7%、「SNS・コミュニケーションアプリが原因で、友達等とトラブルになった」が5.9%となっている。

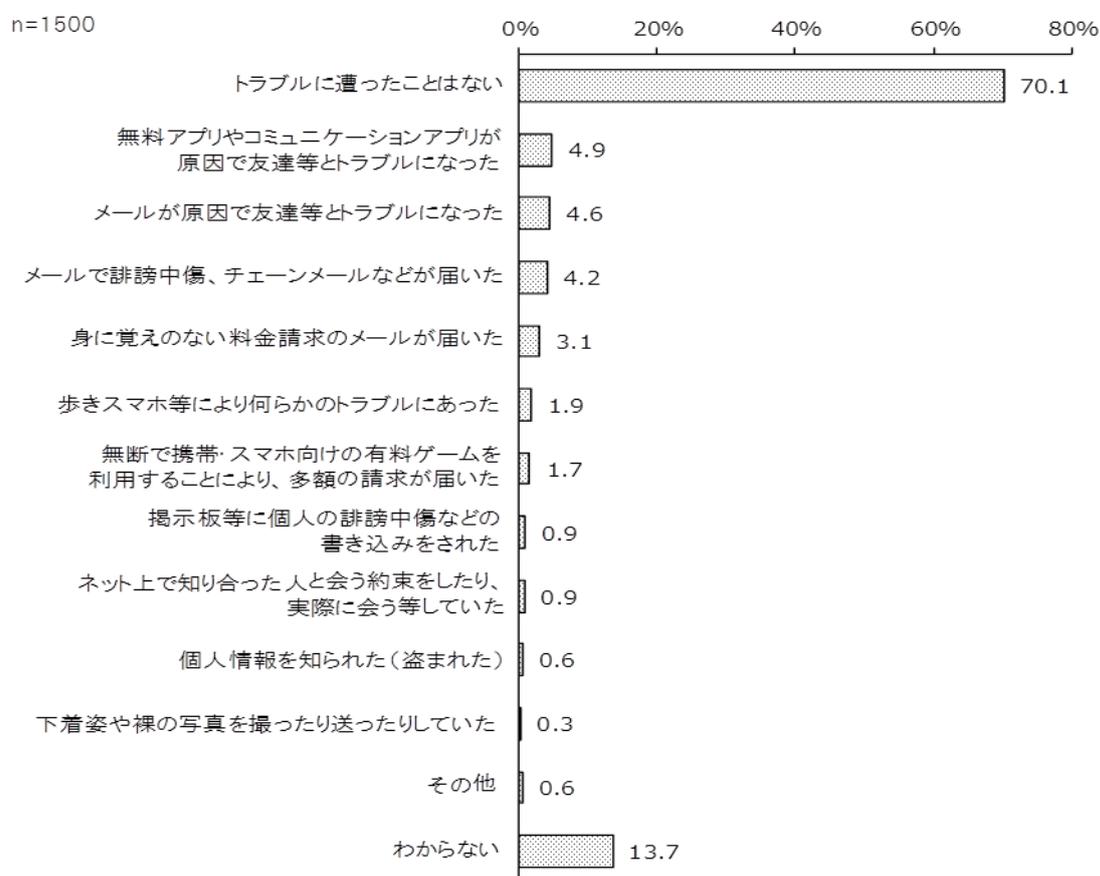


集計表 (H30年度 家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用に関する調査報告書から抜粋)

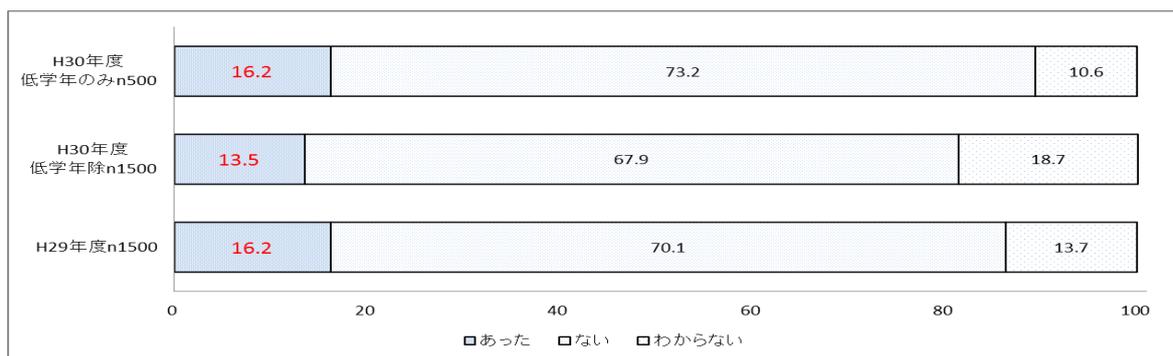
	該当数	メールが原因で友達等	SNS・コミュニケーションアプリ等が原因で友達等	メールで誹謗中傷、チェーンメールなどが届いた	身に覚えのない料金請求のメールが届いた	無断で携帯・スマホ向けの有料ゲームを利用することにより、多額の請求が届いた	掲示板等に個人の誹謗中傷などの書き込みをされた	ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等していた	個人情報を知られた(盗まれた)	下着姿や裸の写真を撮ったり送ったりしていた	その他	トラブルに合ったこと	わからない	
全体	2000	66	117	49	49	34	11	16	7	24	4	1384	333	
	100.0	3.3	5.9	2.5	2.5	1.7	0.6	0.8	0.4	1.2	0.2	69.2	16.7	
児童・生徒別	小学生低学年	500	34	29	17	15	12	9	5	3	4	3	366	53
		100.0	6.8	5.8	3.4	3	2.4	1.8	1	0.6	0.8	0	73.2	10.6
	小学生高学年	500	7	16	13	8	3	3	3	1	2	0	396	62
		100.0	1.4	3.2	2.6	1.6	0.6	0.6	0.6	0.2	0.4	0	79.2	12.4
	中学生	500	15	39	12	13	9	5	2	3	2	4	329	93
	100.0	3	7.8	2.4	2.6	1.8	1	0.4	0.6	0.4	0.8	65.8	18.6	
高校生	500	10	33	7	13	10	5	1	7	0	15	293	125	
	100.0	2	6.6	1.4	2.6	2	1	0.2	1.4	0	3	58.6	25	

H29年度調査結果

(平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書から抜粋)



小学生低学年の割合及び同低学年を除いた過年度調査との比較

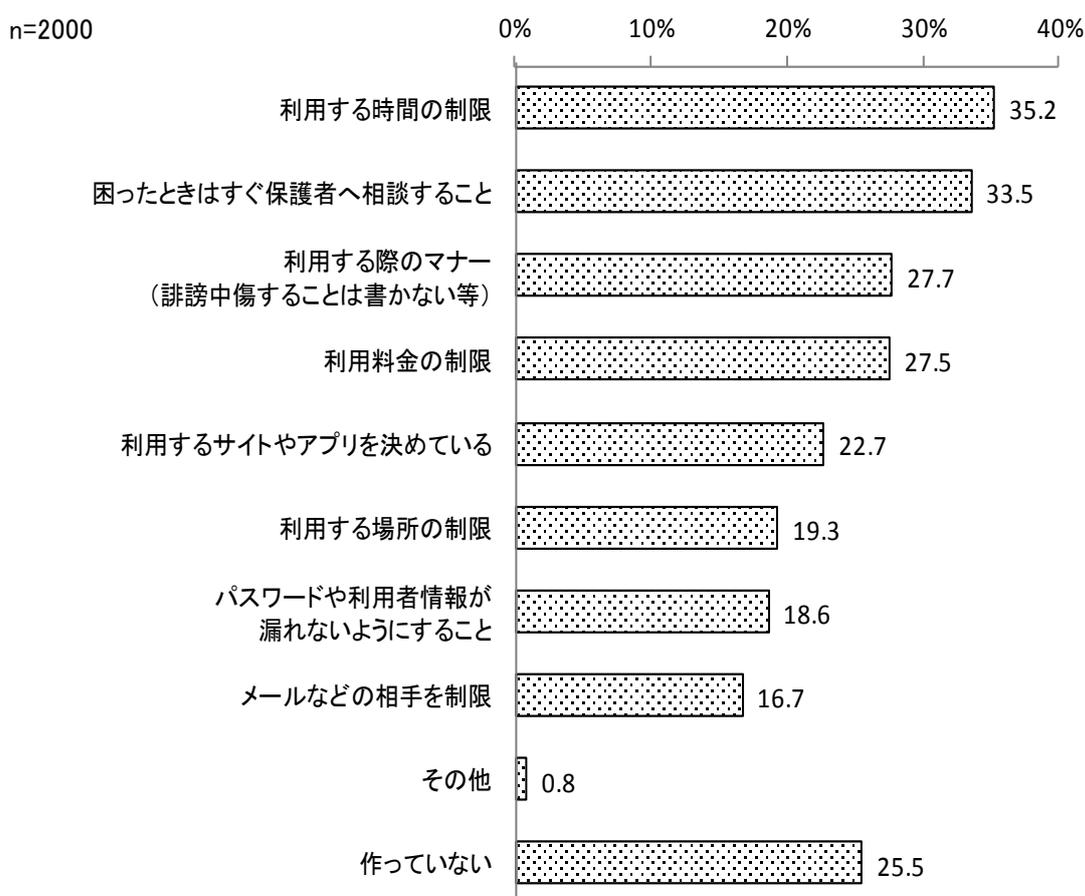


4 家庭におけるルール作りについて

《家庭内でのルールの有無・内容》

お子さんが携帯電話・スマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。
(いくつでも)

家庭内でのルールの内容については、「利用する時間の制限」が35.2%と最も高く、次いで「困ったときはすぐ保護者へ相談すること」が33.5%、「利用する際のマナー（誹謗中傷することは書かない等）」が27.7%となっている。

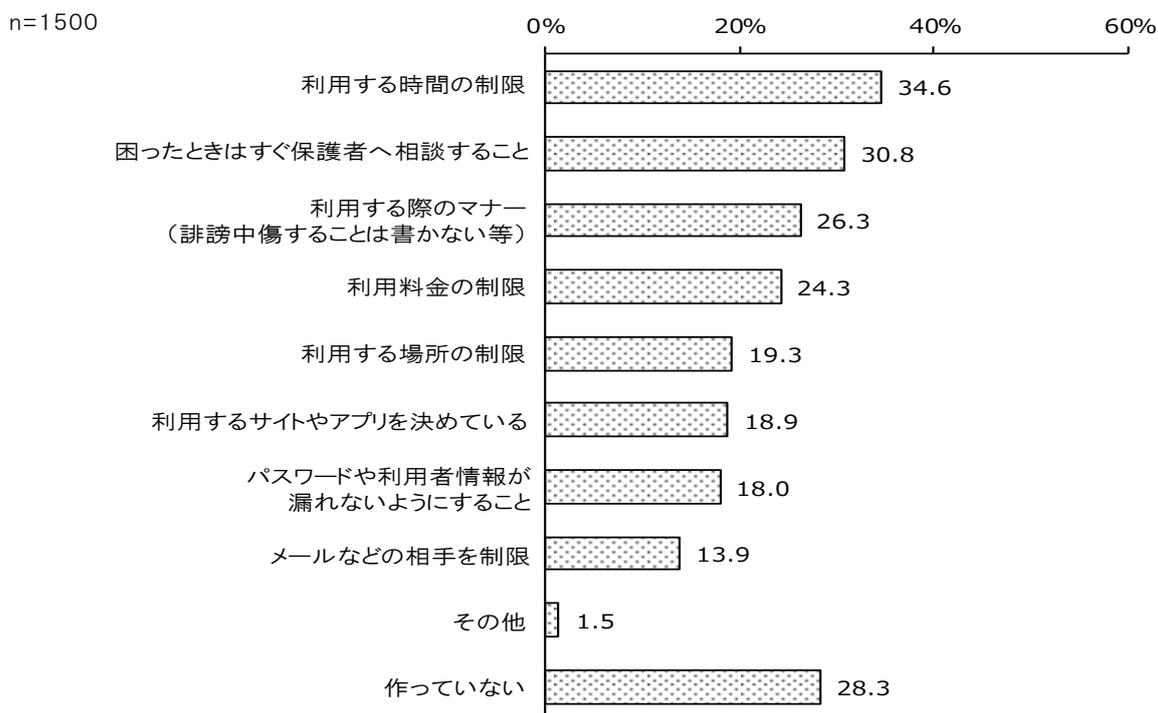


集計表 (H30年度 家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用に関する調査報告書から抜粋)

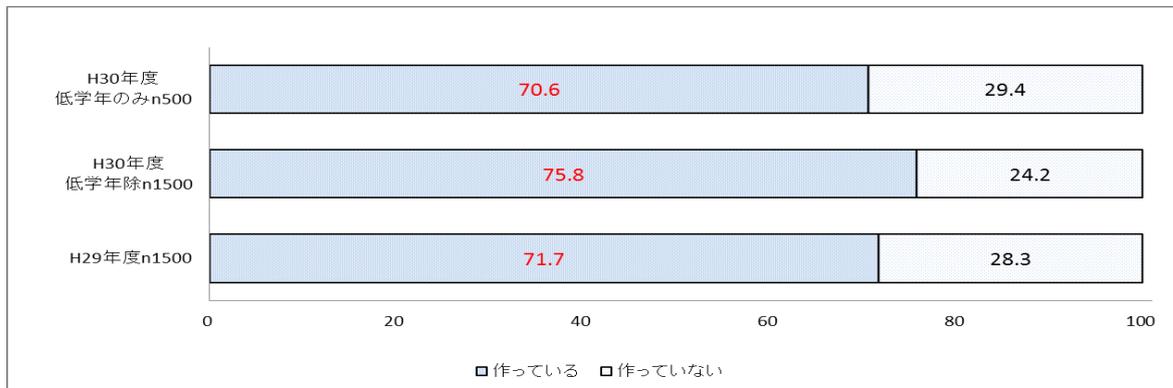
	該当数	利用料金の制限	なすナ利用する(誹謗中傷マ)	てや利用するサイトを決める	制限する時間の	制限する場所の	手メールなどの相	すぐ困ったときは相談す	こなよ情報にが漏れ	用者ワ	パス	その他	作っていない
全体	2000	549	554	453	704	385	333	669	372	15	510		
	100.0	27.5	27.7	22.7	35.2	19.3	16.7	33.5	18.6	0.8	25.5		
児童・生徒別	小学生低学年	500	134	95	101	145	103	124	143	58	1	147	
		100.0	26.8	19	20.2	29	20.6	24.8	28.6	11.6	0.2	29.4	
小学生高学年	500	97	112	119	173	92	120	162	86	4	141		
	100.0	19.4	22.4	23.8	34.6	18.4	24	32.4	17.2	0.8	28.2		
中学生	500	155	184	155	250	130	68	190	111	5	91		
	100.0	31	36.8	31	50	26	13.6	38	22.2	1	18.2		
高校生	500	163	163	78	136	60	21	174	117	5	131		
	100.0	32.6	32.6	15.6	27.2	12	4.2	34.8	23.4	1	26.2		

H29年度調査結果

(平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書から抜粋)



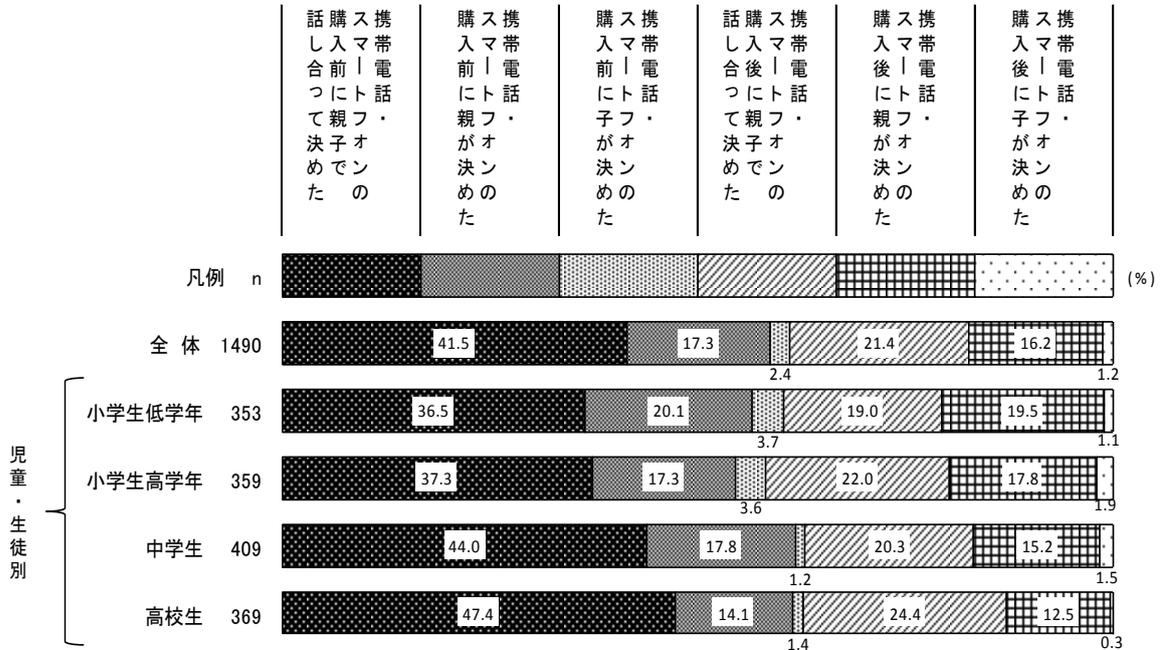
小学生低学年の割合及び同低学年を除いた過年度調査との比較



《家庭内でのルールの作り方》

ルールはいつ、どのように作りましたか。(1つに回答)

家庭内のルールをいつ、どのように作ったかについては、「携帯電話・スマートフォンの購入前に親子で話し合っただめた」が41.5%で最も高く、次いで「携帯電話・スマートフォンの購入後に親子で話し合っただめた」が21.4%、「携帯電話・スマートフォンの購入前に親が決めた」が17.3%となっている。

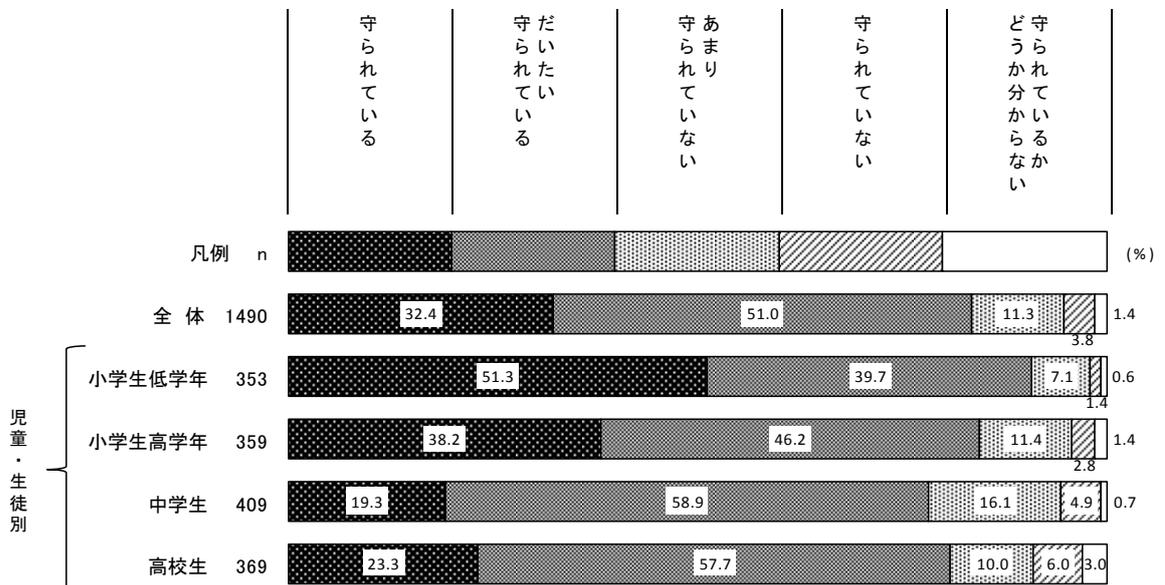


《ルールは守られているか》

家庭内で作ったルールは守られていますか。(1つに回答)

家庭内で作ったルールが守られているかについては、「守られている」が32.4%、「だいたい守られている」が51.0%と合わせて《守られている》が83.4%となっている。また、「あまり守られていない」が11.3%、「守られていない」が3.8%と合わせて《守られていない》が15.1%となっている。

児童・生徒別では、《守られている》は、小学生低学年が91.0%となっており、小学生高学年の84.4%、中学生の78.2%、高校生の81.0%に比べて割合が高くなっている。

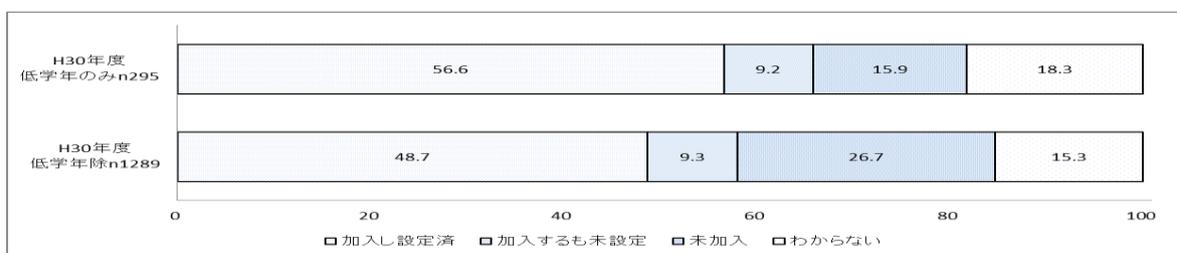


集計表 (H30年度 家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用に関する調査報告書から抜粋)

		該当数	フィルタリングサービスに加入している設定もなし	フィルタリングサービスに加入している設定あり	フィルタリングサービスに加入していない	インターネットが使用できない機種・設定	わからない
全体		2000 100.0	795 39.8	147 7.4	391 19.6	416 20.8	251 12.6
児童・生徒別	小学生低学年	500 100.0	167 33.4	27 5.4	47 9.4	205 41.0	54 10.8
	小学生高学年	500 100.0	175 35.0	24 4.8	65 13.0	177 35.4	59 11.8
	中学生	500 100.0	263 52.6	39 7.8	115 23.0	24 4.8	59 11.8
	高校生	500 100.0	190 38.0	57 11.4	164 32.8	10 2.0	79 15.8

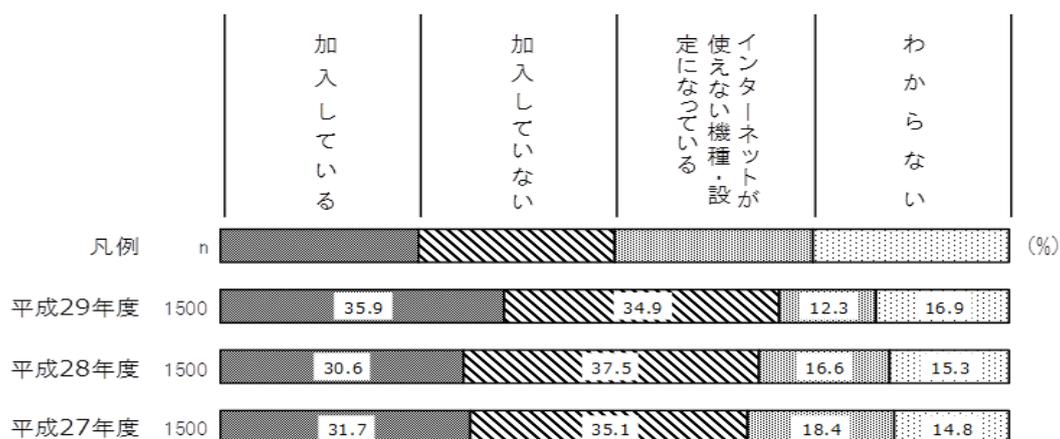
小学生低学年のうち、インターネットが使えないと回答した人を除いた場合の加入率は約6割であった。また、低学年を除いた高学年から高校生にかけては、約5割がフィルタリングに加入し設定済みと回答した。

フィルタリングサービスの加入・設定状況 (インターネットが使えないと回答した人を除く)



H29年度調査結果

(平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書から抜粋)

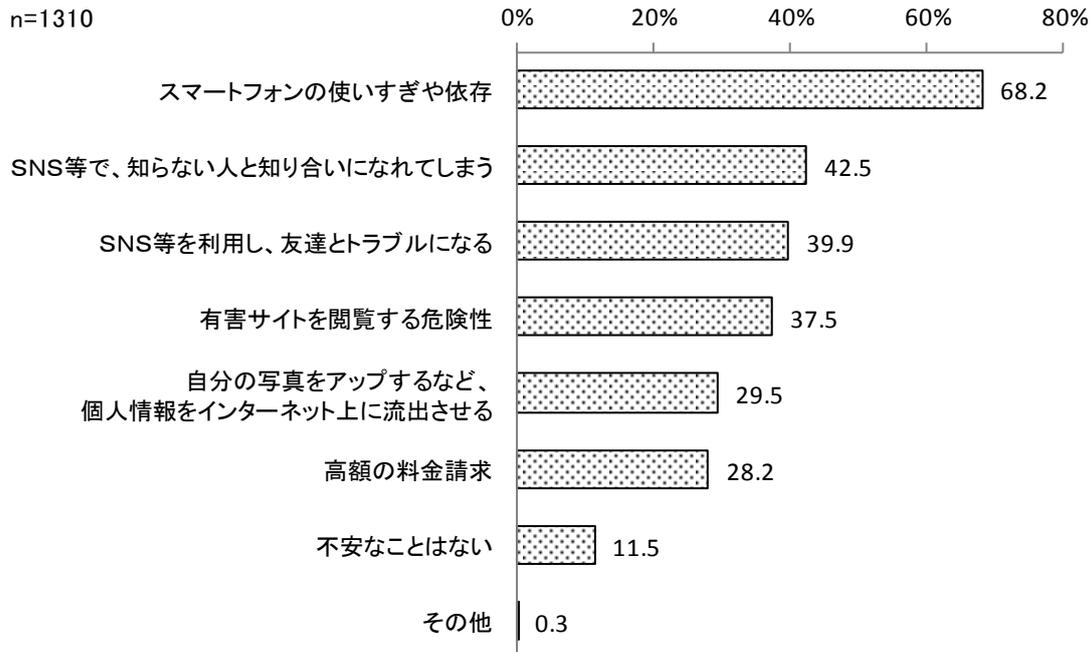


6 保護者の意識について

《スマートフォンを持たせるにあたり不安なこと》

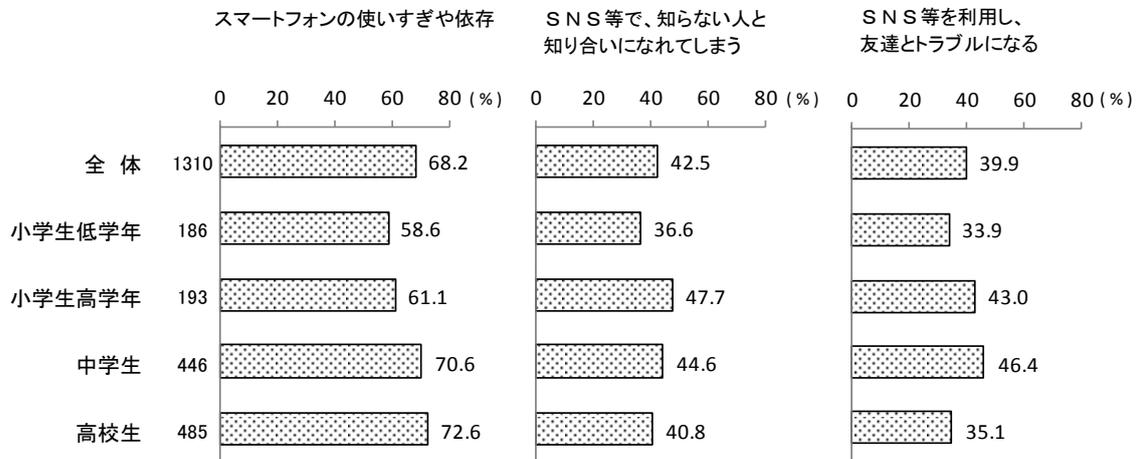
スマートフォンを持たせるにあたり不安なことはありますか。(いくつでも)

スマートフォンを持たせるにあたり不安なことは、「スマートフォンの使いすぎや依存」が68.2%と最も高く、次いで、「SNS等で、知らない人と知り合いになれてしまう」が42.5%、「SNS等を利用し、友達とトラブルになる」が39.9%となっている。



【児童・生徒別 — 上位3項目】

児童・生徒別では、「スマートフォンの使いすぎや依存」は、小学生低学年が58.6%、小学生高学年が61.1%、中学生が70.6%、高校生が72.6%と年齢が上がるにしたがって割合が高くなっている。

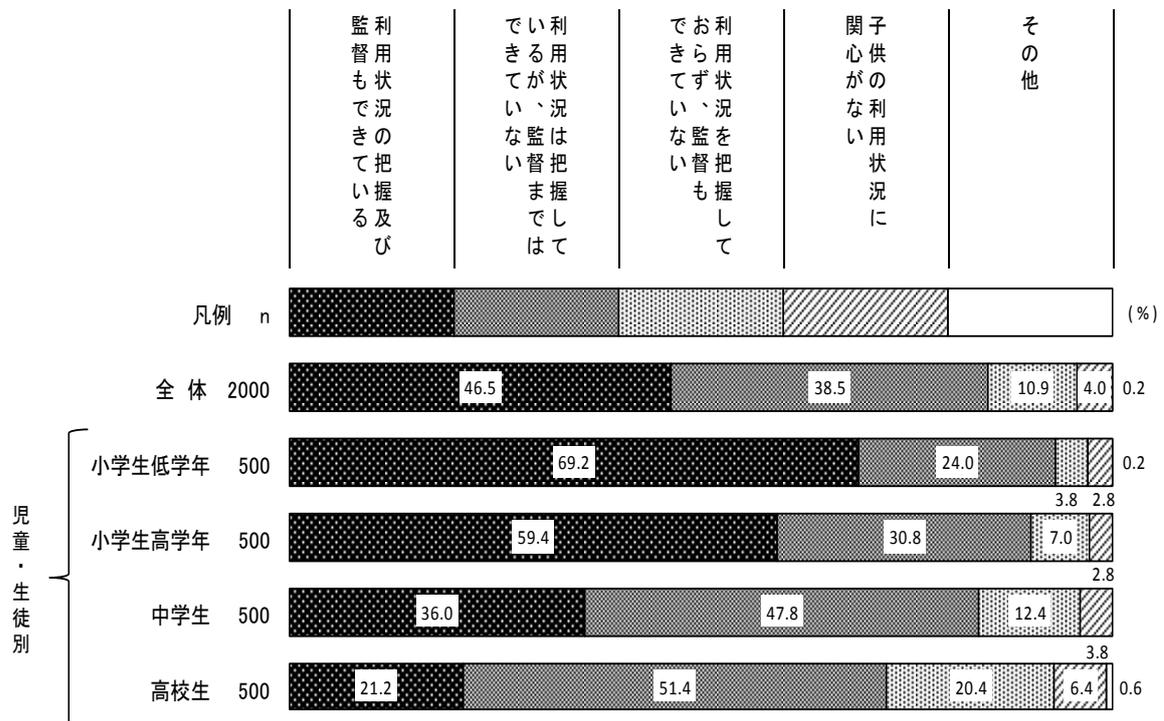


《適切な監督》

お子さんの携帯電話・スマートフォンの利用時間、利用金額、利用サイト等を把握し、適切に監督することができていますか。（1つに回答）

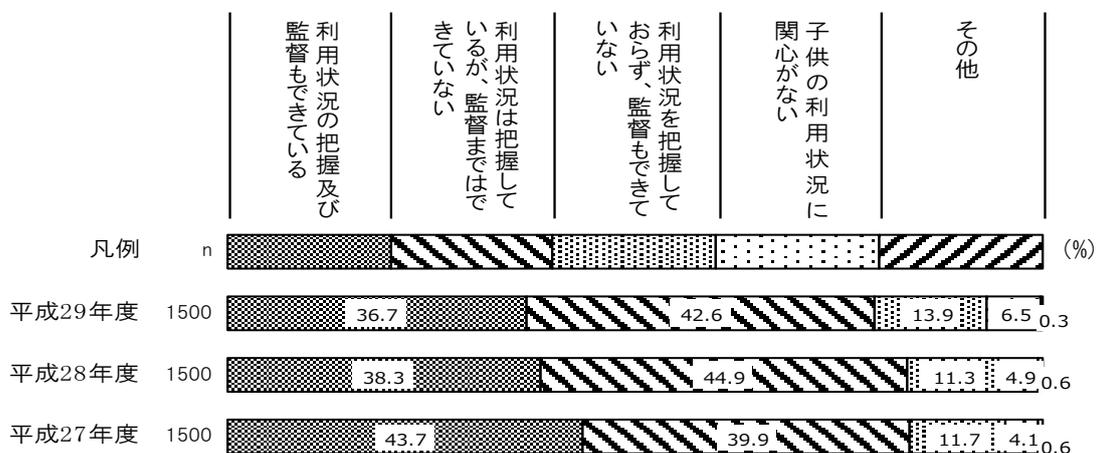
子供の携帯電話・スマートフォンの利用を適切に監督できているかは、「利用状況の把握及び監督もできている」が46.5%と最も高くなっている。

児童・生徒別では、「利用状況の把握及び監督もできている」は、小学生低学年が69.2%、小学生高学年が59.4%、中学生が36.0%、高校生が21.2%と年齢が上がるにしたがって割合が低くなっている。一方、「利用状況は把握しているが、監督まではできていない」は、小学生低学年が24.0%、小学生高学年が30.8%、中学生が47.8%、高校生が51.4%と年齢が上がるにしたがって割合が高くなっている。



H29年度調査結果

（平成29年度家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査報告書から抜粋）



小学生低学年の割合及び同低学年を除いた過年度調査との比較

